

取扱補足説明書

Ver3.1

このたびは、コントローラー (DC-330) 用、床下漏水センサーをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

△ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△ 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。

△ 警告

- 修理・分解・改造をしないでください。
- 水(純水は除く)以外の用途には使用しないでください。

次の場所には設置しないでください。

- 水滴が当たる場所 ○振動や衝撃が激しい場所 ○金属片や粉塵が多い場所 ○高温多湿になる場所
- 温度変化が激しい場所 ○電気ノイズが強い場所 ○亜硫酸ガスやアンモニアなど腐食性ガスのある場所

△ 注意

- 電極に油など付着しないようにしてください。
- センサーケーブルを換気扇以外の強電回路ケーブルと並走させたり交差させたりしないでください。

2. 製品概要

床下の水漏れしそうな所に設置し、コントローラーに接続することで5秒以上連続での床下漏水時(4つの電極が水没時)に、コントローラーに異常警報し、出力を停止します。

3. 漏水検知の設定

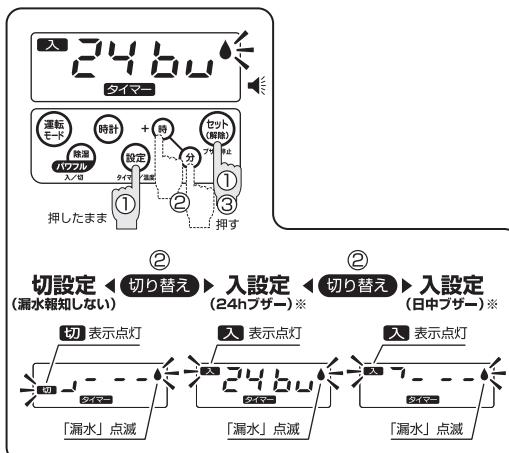
●除湿機本体のセンサー入力端子に漏水センサー接続ハーネスで床下漏水センサーを接続すると自動で判別し
コントローラー液晶に滴マークが点灯します。
※接続検知後は設定時に漏水検知の設定表示がされ、設定の変更等が可能になります。(AC100V電源投入時のみ)

【漏水検知及びブザー発報の設定】

(初期値: 24 h ブザー)

- ①: 設定ボタンを押したままセッターボタンを8回押して右図の表示にします。
- ②: 日中のみブザー入にする場合+時を押します。
漏水検知を切にする場合は-分を押します。
- ③: 切設定(漏水検知しない)→入設定(24hブザー)→入設定(日中ブザー)の順に切り替えます。
- ④: ブザー音のみ解除する場合はセッターボタンを押してください。

*「24 h ブザー」は漏水検知いつでもブザーが鳴ります。
「日中ブザー」は9:00~21:00の間ブザーが鳴ります。
*ブザーは検知時と時刻00分時に5分間発音します。(3日間)



【漏水検知開始日時の設定】 (初期値:直ちに検知する)

●床下へ薬剤散布時に薬剤で誤動作しないよう10日間漏水検知のみ一時中断し
その後、自動で漏水検知を開始します。

※薬剤散布時は漏水センサーに薬剤がかからない様にカバー等を被せてください。

- ①: 設定ボタンを押したままセッターボタンを9回押して右図の表示にします。

- ②: 10日後に漏水検知を開始する場合

+時を押します。

直ちに漏水検知を開始する場合

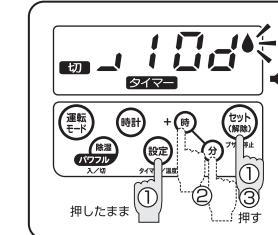
-分を押します。

- ③: セッターボタンを押して設定を完了します。

*10日後に漏水検知開始設定をした場合、

滴マークは10日間2回点滅表示します。

*10日後に漏水検知開始設定をした場合、10日後のタイマーハイターミナルより漏水の検知を開始します。



4. 漏水検出動作

[異常検出時] コントローラー (DC-330) のブザーが鳴り、DRYランプが点滅し液晶表示
点検 + Er:U と時刻が交互表示します。
また、モードが停止になり、出力(除湿機)を停止します。

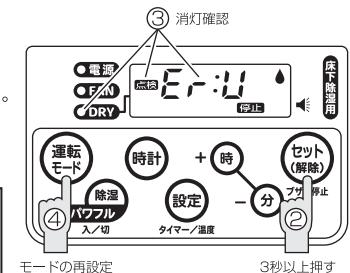


【異常警報の解除手順】

- ①: 解除する前に水漏れなどが解消されているかご確認ください。
- ②: セッターボタンを3秒以上長押ししてください。
- ③: ブザーとDRYランプ点滅と液晶表示点検 + Er:U が消灯します。
- ④: 异常警報前のモードに再設定します。(通常はタイマーモード)
※ブザー音のみ解除する場合はセッターボタンを押してください。

注意

水漏れなど異常が残っている状態で解除しても、再度異常表示をします。
水漏れなど異常が残っている状態で解除した場合、配電盤の漏電ブレーカーが作動する場合があります。



裏面に続く →

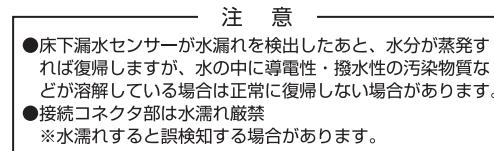
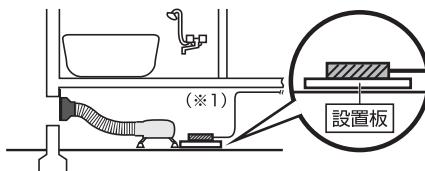
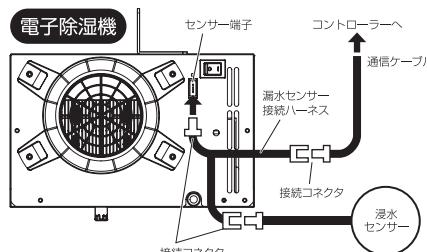
5. 設置方法

確認：コントローラーの電源配線の接地側が、コントローラーの反スイッチ側（S2側）になっていることを確認してください。

- ① 除湿機のセンサー端子へ漏水センサー接続ハーネスを接続し、床下漏水センサーのコネクターをカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

(※1) センサーケーブルは地面に敷設せず、木部等にナイロンクラップ等で吊り配線してください。

- ② 床下漏水センサーを水漏れしそうな所（台所・風呂場付近の床下）や換気扇付近に付属の設置板（75×75mm）を必ず敷き、電極を下にして設置します。



下記の内容に注意して設置してください。検出感度や正常な動作に影響を与えます。



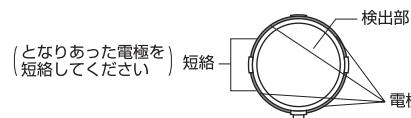
- ③ 動作確認をする場合は次のような方法があります。

1 : 電極を短絡させる（右図を参照してください）

2 : 床下漏水センサーの4つの電極を水没させる。

（確認後は検出部及び周辺の水分がないことを確認してください。）

※5秒以上短絡または漫水させてください。



6. 仕様

使用周囲温度	-10 °C ~ 50 °C (氷結なきこと)	ケーブルの長さ	約 10 m
使用周囲湿度	95 %Rh (結露なきこと)	質量	約 350 g
検出感度レベル	42 kΩ以下	センサーサイズ	ø 48×14 (mm)

7. 故障かなと思ったら

現象	原因	処置
水漏れしていないのに異常警報する	導電性のゴミや金属片が付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	結露している	設置場所を変更してください
	電極が地面に接触している	正しく設置してください（設置方法を参照してください）
	コネクタ部が水漏れしている	コネクタ部を防滴処理してください
	落雷があった	誤動作の為、セットボタン長押し解除してください
水漏れしているのに異常警報しない	油などが付着している	センサーに付着しているものを取り除いてください
	断線している	床下漏水センサーを交換してください

注 意

接続コネクタ部は水濡れ厳禁



※水濡れすると誤作動する場合があります。

memo